CASE関連の強化進める

営業利益が15%増に

日東精工 中間期

非日系企業の拡販も

日東精工㈱（京都府綾部市、荒賀誠社長）の、2024年12月期第2四半期連結業績の売上高は223億9400万円（前年同期比0・2%減）となった。営業利益は14億9400万円（同15・1%増）、経常利益は16億1000万円（同9・0%増）、中間純利益は10億7000万円（同20・8%増）となった。

売上高は、ファスナー事業と産機事業における一部需要低迷がマイナスに影響した。特に、ファスナー事業では、巣ごもり需要の減少によるゲーム機向け製品の売上が減少し、産機事業では米国とタイでの自動車向けねじ締め機の需要が低下した。一方で、制御事業は、エネルギー関連向け分析計測機器が好調で、欧州新拠点の設立により売上が伸びた。これにより全体では横ばいの0・2%減収となった。価格転嫁が進展したことで営業利益は大幅に増加している。

ファスナー事業では、主力である自動車向け製品は堅調だったものの、ゲーム機市場の需要が落ち着き、さらに建設業界の人手不足と資材高騰が影響して減収となった。営業利益も、材料費とエネルギー費の価格転嫁が不十分だったため減益に終わっている。

産機事業においては、電動化需要や自動化推進の流れがある中、米国とタイでの景気後退や政治的要因により、設備投資意欲が減退し減収となった。ただし、ねじ締め機に関しては価格転嫁が進み、営業利益は前年同期比で増加している。

制御事業では、エネルギー関連向けの分析装置が好調で、欧州の新拠点での販売も順調に進み、売上高と営業利益がともに増加した。新製品開発や原価の見える化、加工部品の内製化などが進展しており、今後の成長が期待される。

中期経営計画のうち「Growth#1」の事業拡大戦略において、ファスナー事業はCASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）関連事業を強化している。樹脂材向けゆるみ止めねじ「ギザタイト」や座金組み込みねじ「アスファ」などの製品が好調に推移。また、自動車向けにグループのプレス製品と締結部品を組み合わせたASSY製品を提案し、高付加価値製品として収益性の向上を目指している。

さらに、韓国の非日系企業への販売も拡大し、CPグリップなどの製品が好調で、前年比6000万円増を達成した。一方、北米では住宅着工数の低迷により建築用ねじの伸び悩みが見られるが、住宅・建築業界への拡販を進めている。

同社はインド市場への進出を進め、冷間圧造部品メーカーVulcan Forge Pvt. Ltd.およびVulcan Cold Forge Pvt. Ltd.を買収。これにより、インド国内の自動車や農業機械業界向け製品の供給を強化し、成長市場でのシェア拡大を図る。

2024年12月期の通期予想では、売上高482億円（前年同期比7・7%増）、営業利益33億円（同26・2%増）、経常利益35億円（同23・4%増）が見込まれている。今期前半は、在庫調整や主要国の経済成長の鈍化、地政学的リスクによる影響で受注が伸び悩んだものの、今後は在庫過多の解消が進み、価格転嫁の効果が表れ始めている。また、設備投資意欲も自動車業界を中心に回復基調にあり、後半からはグループ全体での業績回復が期待される。

建材協が交流会

「優良製品・技術」を紹介

特別賞に神山鉄工所

（一社）日本建築材料協会（松本將会長）は8月28日、大阪市中央公会堂地下大会議室（大阪市北区）で「第63回建材情報交流会」を開催。建築設計事務所やゼネコン・工務店、建材関係者ら96名が参加した。

神山社長

同会は、6月に開催した「理想のすまいと建築フェア（旧KENTEN）」の出展企業の中から選ばれた「優良製品・技術」を表彰し、受賞製品を紹介するもの。本紙関連では、㈱神山鉄工所（大阪府東大阪市、神山貴至社長）が「神ゼロガード（ゼロクロメート・ブランカ）」で特別賞を受賞している。

表彰に先立ち、増田敬彦氏（増田敬彦一級建築士事務所代表、大阪大学非常勤講師）が「建築に纏わる、ここだけの話」をテーマに基調講演を行った。協力団体の（一社）日本建築協会に所属し、優良製品・技術表彰選考委員を務める増田氏は、建築デザインをはじめ、不動産や商業開発等の建築事情について軽妙な語り口で講演し、参加者は熱心に耳を傾けていた。

休憩を挟んで、優良製品・技術表彰と受賞製品が紹介された。

- 経済産業省製造産業局長賞（オフセットサイディング＝ニチハ㈱）
- 国土交通省住宅局長賞（ヨドルーフ157セキュア＝㈱淀川製鋼所）
- 優秀賞（ワンタッチドアオープナー オストパス＝ナカ工業㈱、機能維持耐震天井工法「FMS天井」＝安田㈱、チヨダサーキュラせっこうボード＝チヨダウーテ㈱、GAINAルーフ＝㈱日進産業）
- 特別賞（「神ゼロガード」ゼロクロメート・ブランカ＝㈱神山鉄工所、KMEW耐火シート＝ケイミュー㈱、匠能登ひば ひばデッキ＝㈱ムラモト）

増田氏

このうち特別賞を受賞した神山鉄工所は、神山社長が「神ゼロガード」2製品の開発経緯と性能を紹介。鉄製ねじ向けの高耐食性ノンクロム電気亜鉛めっき「ゼロクロメート」は、クロムに加えコバルトもフリーで、RoHS指令とREACH規則に対応。ステンレス製ねじ向けの表面処理「ブランカ」はパシベート処理の100倍以上の耐食性を持ち、有害物質管理も万全。共にSDGsに対応する環境配慮型表面処理として、参加者にアピールした。

交流会の様子

寸法測定を自動化

春日鋲螺製作所

新設備で時間短縮も

㈱春日鋲螺製作所（大阪府八尾市、田中秀和社長）はこのほど、画像寸法測定器「IM8010」（㈱キーエンス製）を導入。本社工場内に設置し、測定時間の短縮や測定の安定性、対応幅の向上に役立てている。

同社は六角ボルト、根角ボルト、フランジボルト、組込みボルト、リベット、その他あらゆるねじ製品を手掛け、品質管理・品質保証体制の強化にも力を入れてきた。田中社長は「画像選別機は従来からあるが、今回の画像寸法測定器の導入で、さらに正確な寸法の鋲螺製造が行えるようになった。画像寸法だけではなく製造工程全般、生産活動すべてをチェックするつもりで取り組んでいきたい」と意気込む。

導入したIM8010は、測りたいワークを置いて測定ボタンを押せば、指示通りにすべての箇所の測定を実行。従来製品と比べ3倍の検出機能を実現し、寸法測定を自動化・短縮化した。わずか3秒で最大300カ所の高精度測定を完了、人の手では計測が難しい部分も、正確・スピーディな計測が行える。

IM8010

同社ではヘッダー、トリーマ、ローリングを装備し、M6～M16のヘッダー加工、トリミング加工、ローリング加工を行っているが、この3月に新たなヘッダー「NS80A」（㈱中島田鉄工所製）を導入、M6・M8フランジボルトの生産能力をさらに高めた。今回導入した画像寸法測定器同様、高品質製品の安定供給に繋げていく考えだ。10月には、㈱三明製作所製の座金組込機付きローリングマシン「THI-10R EVOLUTION」の導入も決まっている。

田中社長は「若い社員も増えており、今後の企業経営を考えると設備投資は惜しまない。新たな需要や大きな案件にも対応できる体制は整えておきたい。ひとつ上のレベルのねじ屋を目指し、会社を改造する気概を持って進めていく」と、強い決意を示した。

なお、田中社長をはじめ同社社員のイラストと同社イメージキャラクターを務めるタレントのタージンさんが車体にプリントされた「ラッピングバス」は、来年9月まで契約を延長。府道21号八尾枚方線を走る近鉄バス路線（近鉄八尾駅～京阪萱島駅）で見ることができる。

信州大と連携協定を締結

島津製作所

先端技術の開発推進

㈱島津製作所（京都市、山本靖則社長）は8月5日、国立大学法人信州大学（長野県松本市、中村宗一郎学長）と、社会課題解決に向けた共同研究および研究成果の社会実装を目的とする「包括的連携に関する協定書」を締結した。契約期間は5年間。

両者は協定書に基づき、水やエネルギーに関連する先端的技術に関するテーマの探索や同社の持つ分析計測技術の活用検討、双方の研究者・技術者の育成に共同で取り組む。両者による共同研究は、2025年3月に信州大学松本キャンパスに竣工予定の新拠点で実施する。

山本社長（左）と中村学長

信州大学は様々な溶媒（フラックス）を用いた人工的結晶作成方法「フラックス法」や、「フラックス法」による「信大クリスタル」などの素材開発に実績と強みを持っている。10年先のビジョンとして「アクア・リジェネレーション（ARG）分野の研究力を核に一歩先のソリューションを共創する」と掲げている。ARGとは、水および水由来のグリーンエネルギーを中心とする地球環境再生に関わる分野を統合した新しい学問分野で、同分野の研究を進める拠点として3月にアクア・リジェネレーション機構を設置した。

島津製作所は多様な分析計測機器・技術を用いた、新技術・新素材の評価計測手法に強みがある。中期経営計画において、ライフサイエンス分野を含むヘルスケアや、カーボンニュートラルを目指すグリーン（GX）を社会価値創生領域と定めている。同社は信州大学ARG機構と、「信大クリスタル」などの先端材料を使った「水の浄化・循環利用」や、次世代エネルギーとして期待される「水由来水素エネルギーの生成・利用」などに関する共同研究を検討していく。

モノタロウ

「ニューオフィス賞」に

働きやすい環境構築で

㈱MonotaRO（大阪市、モノタロウ）の本社オフィスがこのほど、「第37回日経ニューオフィス賞」の近畿ニューオフィス奨励賞を受賞した。

本社オフィスは昨年11月、大阪市北区梅田に移転したもの。「働きやすく、セレンディピティを誘発し、イノベーションを促進し続ける〝ワークキャンパス〟」をコンセプトに設計した。

企業の成長に必要な革新性やアイデアは、偶発的なコミュニケーションから発展するという考えのもと、会話が生まれやすい動線を考えた開放感のあるカフェスペースや、オフィス用品などを集約した立ち寄りやすいユーティリティーコーナーなど、自発的な協創を生み出し、イノベーションを促進させる環境を構築することを目指している。

新オフィスは、合計で約2400坪（約8000平方㍍）もある大きなオフィスで2フロアに分かれ、カフェスペースに内部階段を設置して2フロアを結ぶことで、行き来しやすくした。カフェスペースやオフィス内の回遊動線にあるポケットミーティングスペースなどで、社員同士の交流や新しいアイデアなどが生まれている。

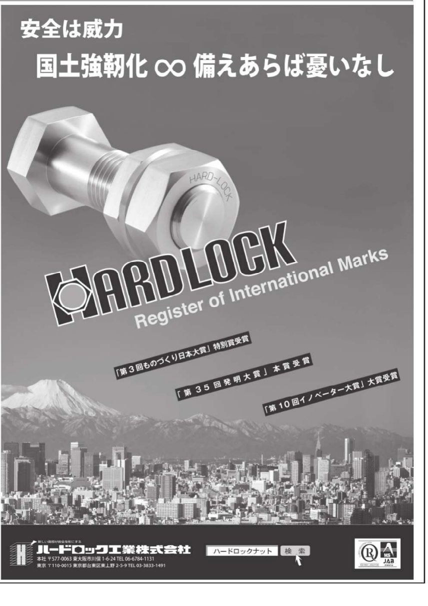
斬新なレイアウト

日東螺子の特殊ねじ・部品
多段打ヘッダー十（プラス）2次加工
トリーマ加工 ― 異形（菱型・四角・楕円他）及びつぶし加工（でんでんボルト等）
すり割り加工 ―（深溝加工・一面カット等）
切削2次加工 ―（穴あけ・溝入れ・頭部加工等）
軸径4㎜―20㎜・首下200㎜まで

金型内製化により少ロットでも承ります
ISO9001認証登録工場
TRADE MARK UROKO
日東螺子工業株式会社
〒120-0044 東京都足立区千住緑町1-23
TEL03(3881)7175 FAX03(3881)7179

真鍮ナット
アサヒ印
真中メネジ総合メーカー

国内
輸出
ISO 9001 認証取得 株式会社 桑名製作所
〒130-0003 東京都墨田区横川4―1―16
TEL(03)3625-0987（大代） FAX(03)3625-0989
HP https://www.kuwana-ss.co.jp Email info@kuwana-ss.co.jp


安全は威力
国土強靭化 ∞ 備えあらば憂いなし
HARD-LOCK
HARDLOCK
Register of International Marks
「第3回ものづくり日本大賞」特別賞受賞
「第35回発明大賞」本賞受賞
「第10回イノベーター大賞」大賞受賞
ハードロック工業株式会社
本社 〒577-0063 東大阪市川俣1-6-24 TEL 06-6784-1131
東京 〒110-0015 東京都台東区東上野2-5-9 TEL 03-3833-1491
ハードロックナット 検索
JAB